

マスターズ広島 News Letter

第22号 (2019年6月25日)
発行：広島大学マスターズ広島事務局

【目次】

1. 第10回総会・懇親会報告
2. 本会の広報とホームページの管理について (報告)
3. 広島大学マスターズ第13回総会・懇親会に参加して (報告)
4. 会員異動

1. 第10回総会・懇親会報告

広島大学マスターズ広島の第10回総会は、2019年5月25日(土)17時～17時30分にホテルグランヴィア広島4F「悠久」を会場に開催されました。出席者は正会員12名、協力会員1名、顧問1名、参与1名、計15名でした。

議事録は次の通りです。

- (1) 議長の選出：植木代表幹事を選出し、開会挨拶があった。
- (2) 会員の状況：総務担当の植村幹事が資料1に基づき報告し、承認した。
- (3) 役員の変動：2019年度の役員を幹事会で検討し、総務担当の植村幹事が資料2を説明し、承認した。
- (4) 2018年度事業報告：総務担当の植村幹事が資料3に基づき報告し、承認した。
- (5) 2018年度決算書：会計担当の桑原幹事が資料4に基づき報告し、承認した。
- (6) 会計監査報告：監査担当幹事による監査の結果について、「会計帳簿の記載は正確で、関係書類ならびに会計処理はすべて適正になされており、決算書のとおり相違がないことが確認された」旨、会計担当の桑原幹事から報告があり、これを承認した。
- (7) 2019年度事業計画(案)：総務担当の植村幹事が資料5に基づき報告し、承認した。
- (8) 2019年度予算書(案)：会計担当の桑原幹事が資料6に基づき報告し、承認した。

なお、議事録中にある資料については「広島大学マスターズ広島」ホームページ <https://home.hiroshima-u.ac.jp/masters2/> でご覧いただけます。広島大学ホームページ左端の「校友会・同窓会」をクリックすると行き着きます。本年度の事業計画「資料5」を以下に掲げておきます。

【2019年度事業計画】

1. 新規入会会員の勧誘

2020年3月末に広島大学を定年退職される教職員に入会案内を送付して新規入会の勧誘を行うとともに、幹事・会員により随時勧誘を行う。

2. 第10回総会・懇親会の開催

日時：2019年5月25日（土）17：00－19：00

会場：ホテルグランヴィア広島 4F「悠久」

3. 例会

年2回程度（春と秋）、広島市内及び近郊の観光地・史跡めぐり、施設や工場などの見学を計画する。

4. ミニ懇話会の開催

会員間の相互理解と親睦を促進するため、新たに年に数回、会員が自らの専門をわかりやすく語る小規模な懇話会を開催し、終了後に懇親会を行う。会が軌道に乗れば、将来的には市民や学生に開放する講演会へと発展させることも検討したい。

5. 広島大学から依頼のあった講座・事業などの担当

・教養コア科目「平和科目」の授業担当

2019年度は霞キャンパスにおいて「平和と人間C－広島で学ぶ（原爆とは何だったか）－」を第2ターム（4学期制）で、東千田キャンパスにおいても「平和と人間D－広島から未来に向けて－」を前期（2学期制）で担当する。

・日韓理工系学部留学生向け予備教育授業の担当

日本と韓国の教科書の違いに鑑み、欠けたところ及び不十分なところを補う予備教育を担当する。数学・物理・化学・生物の4科目については、10月末から3月までの10週（各科目について週1回（90分））を東広島の広島大学マスターズと共同開講する。本会からは、物理と生物の2科目を担当する。

・大学院共通授業科目の授業担当

2018年度と同様に、大学院共通授業科目「学問と社会」と、医歯薬保健学研究科の医歯科学専攻修士課程の社会人大学院生向け「健康生活科学」の授業を担当する。

6. NHK文化センター広島教室から依頼のあった講座の担当

NHK文化センター広島教室が春から開講する「私たちが生み育てた宇宙を読み解く」他の講師を派遣する。

7. 会報（メールマガジン）の発行

『マスターズ通信 News Letter』を、年に2回程度発行する予定。

8. ホームページ、Facebook ページによる広報

9. その他

広島大学マスターズ広島の活動を総点検して今後のあり方を考えるため、引き続き議論を進める。また、2020年の本会創設10周年に向けて記念事業を検討する委員会を立ち上げる。植木代表幹事を委員長に選出した。

議事進行状況の一部を以下に掲載しておきます。

[代表幹事植木研介先生の開会挨拶]

今までの慣例に倣いまして議長を務めさせていただきます。暑い中を本日はお集まりいただきまして、有難うございます。

それでは二番目の議題であります会員の状況の報告について、総務担当の植村幹事よりお願いします。

議長（植木代表幹事）



植村幹事



総会風景

総会終了後、17時30分～19時に同会場で懇親会が開かれました。以下のようなスケジュールで進行し、料理とお酒を楽しみながら歓談した。

【懇親会次第】

日時：2019年5月25日(土) 17:30～19:00

場所：ホテルグランヴィア広島 4階「悠久」

- (1) 代表幹事植木研介先生の開会挨拶
- (2) 副学長相原玲二先生の挨拶（顧問越智光夫学長の代理）
- (3) 乾杯（松水征夫先生の音頭）
- (4) 懇談
- (5) 広島大学マスタース代表幹事渡部和彦先生の挨拶
- (6) 協力会員 NHK 文化センター広島総支社長中山 章様の挨拶
- (7) 新入会員寺本康俊先生の挨拶
- (8) 各会員のリレー式ショートスピーチ
- (9) 閉会挨拶

以下に、いただいたご挨拶の概略と写真を掲載しておきます。

【広島大学副学長相原玲二先生の挨拶（概略）】

顧問の越智学長の代理として参りました、情報担当の副学長の相原と申します。大学の現状を少しご紹介させていただきます。昨年度からの大きな変化としては、平成30年度卓越大学院プログラムに「ゲノム編集」が採択されました。また今年度4月から大学院の再編が開始され、統合生命科学と医系科学の二つの研究科が発足しました。今後も三つの研究科に再編され、最終的には研究科が五つの体制に移行する改革が着々と進んでいます。それから人事制度について、教員の採用が低減化している問題への対策として、本人の自薦も含めて業績評価による昇任もある得る体制に移行する形となっています。

私は、ずっとインターネットなどのIT関係の分野で研究をしてまいりました。ホームページの仕掛けやIPアドレスの申請などに長く携わってきましたが、その活動の前半では、ボランティア活動を通して近隣の大学や学外の方々と繋がることができました。特に、ボランティアの活動という社会連携が基本的に重要だと実感しました。マスターズ広島の様々のボランティア的な業務を伺いまして、是非継続していただきたいと思います。会員の高齢化や減少など難しい課題があることを伺いましたが、大学としても協力致しますので、今後ともよろしく願い申し上げます。この会の第10回総会、誠にありがとうございました。



乾杯（松水征夫先生の音頭）

この会の発足当時、副代表幹事を務めさせていただいておりました。この会も10年目を迎えるということで、来年は記念の大会や記念誌の発行が検討されていると伺いました。会の発足前後の様子を知る者としてお手伝いさせていただき、記念誌的な物ができればと思います。目指すべきは東広島のマスターズが記念誌を発行されたのに倣って、この会でも刊行できればと思います。

では、この会が益々盛会になりまして、来年はめでたく10年を迎えられますよう。また会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念しまして、乾杯の音頭を取らせていただきます。

【参与渡部和彦先生（広島大学マスターズ代表幹事）の挨拶（概略）】

本日は重要な総会に同席させて頂き光栄です。4月初旬に平和科学センターでの会議に私と松田先生で参加致しました。この会議では、平和科目をどうするか、あと10年続けられるか、続けるとすると誰が担当するのかという大きな問題が議論になりました。やはり新しい先生方に担当して頂くことを、考えなくてはならない。私達も担当しておりますが、他の先生方をお願いするのは簡単ではありません。やはり大学からのサポートやレベルの高いTAの協力を考えなければならないと思います。実は、平和科目を廣大マスターズの先生方に広く知って頂くために、



6月16日に東広島芸術文化ホール「くらら」で川野徳幸先生による講演会『飯舘村を通して、「フクシマ」を考える』を計画しています。

私供は、トピックスを講演会やシンポジウムで紹介する取り組みを行っております。昨年は、西条中心部の酒蔵通りを中心に ICOMOS が「20 世紀遺産 20 選」に指定したのを機縁に、景観条例をテーマにシンポジウムを開きまして、市民の方に沢山来て頂きました。また、東広島には留学生や外国人労働者が沢山いらっしゃいます。中国地方でも外国人の比率が高い地区と伺っています。そこで、今年度は、外国人のお子さん達に対するケアなど国際的な連携に関するシンポジウムを考えています。マスターズ広島との交流を深めて行きたいと思っておりますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。本日は誠に有難うございました。

【協力会員 中山 章様 (NHK 文化センター広島総支社長) の挨拶 (概略)】

NHK 文化センター広島教室の中山です。広島教室は本当にマスターズ広島の先生方にお世話になっています。「今度こういう講座を開きたいので、どなたか先生を紹介して下さい」とお願いすると、直ぐにご紹介して頂いておりまして、非常に面倒をみて頂いています。今は広島教室には 400 近い講座がありまして、大学の先生方に教えて頂くような専門的な話から、小中学校で自分達が学んでいないと感じるような話題も多くて、「一から学び直す何とか」というような色々な講座があります。今後、皆様方に声を掛けさせて頂くことがあると思っておりますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。



【新入会員 寺本康俊先生の挨拶 (概略)】

寺本と申します。この3月に退職致しました。この20年余りの間、諸先生方のご努力で法人化や大学改革が進められて参りまして、今も皆が一丸となって頑張っている最中です。私の役割は、この4年間、図書館長を拝命して参りました。図書館では、電子ジャーナルに何億円という経費が掛かりますので、これが大きな課題です。広島大学が研究大学として続いて行くために、電子ジャーナルを続けて購読できるように色々な対応をして来ました。現在、4月からは新しい環境で、その環境に慣れるべく精一杯やっております。どうか今後ともよろしく宜しくお願い致します。



懇親会風景 1



懇親会風景 2

2. 本会の広報とホームページ等の管理について（報告）

広報担当を松水征夫先生から圓山が引き継ぐことになり、マスターズ広島のグループ(masters2)とメーリングリスト(ml-masters2)の副管理者の変更が必要となりました。そこで、5月28日に大学本部の総務室校友会と情報メディア教育研究センター（IMC）を訪ねました。校友会では、マスターズ広島 HP 及び上記リストの管理と「平和科目」等の担当について現状把握と情報交換をいたしました。また、IMC では、副管理者の登録後のグループ及びメーリングサービスの変更・編集、加えてグループメンバーとメーリングリストの確認が必要になる、などの引継ぎに伴う作業について説明を受けました。

以上の内容を松水先生と次期総務担当の渡邊敏正先生にお知らせした後、5月31日に松水先生が副管理者の登録更新をして下さいました。また、6月6日に植村先生より新入会員（河本先生と寺本先生）の個人データをいただきましたので、上記リストの確認と更新の作業を進める予定です。

3. 広島大学マスターズ第13回総会・懇親会に参加して（報告）

マスターズ広島側からは当方と圓山先生が出席いたしました。挨拶の中では、主に広島大学マスターズ広島（以下、マスターズ広島）の現状などを報告いたしました。参加していくつか気付いたことがあります。まず、15名と119名、34名と84名の違いです。本年度の総会・懇親会の出席者数と現会員数です。前者がマスターズ広島、後者が広島大学マスターズです。次に、広島大学マスターズの具体的な活動が幅広く市民生活に浸透していることです。広島大学への教育支援はもとより、TSS文化大学講座、市民講座、出前講座、出張授業、懸賞論文審査、ラジオ講座やNHK文化センター講座への講師派遣、など様々です。そのいくつかはマスターズ広島でも取り組んでいますが、その多様さ、浸透の程度の違いです。これには、広島市と東広島市の規模の違いに加えて、マスターズ側の思いと行政側の受入れ態勢のマッチングの度合いが大きく関係しますので、それほど単純な話ではないと思っています。最後に、この懇親会において皆様との会話の中で感じた出席者のエネルギーです。マスターズの活動に対する皆さんの意気込みとか思いが伝わってきました。このエネルギーを少しでも頂いて、今後の活動に活かしていきたいと思っています。（渡邊）

広島大学マスターズは会員数が84名（6月1日現在）と必ずしも多い訳ではありませんが、その活動の種類と件数の多さに感銘を受けました。その上、東広島市や地元メディアなどとの多岐にわたる連携が活発に行われています。地理的な条件に加えて、各会員の熱心な取り組みにより、知識と経験が発揮される機会が多く設けられているようです。本会でも実施可能な事業は多いと思われるので、まずは実行可能な活動から提案し、賛同者からの理解と協力が得られるようになればと思います。（圓山）



広島大学マスターズ第13回総会・懇親会（6月1日）の風景

4. 会員異動

【新入会員】

河本 昌志 (元 医学部)

寺本 康俊 (元 法学部)

広島大学マスターズ広島事務局

〒730-0053 広島市中区東千田町一丁目1番89号

広島大学東千田地区支援室気付

(FAX) 082-542-6964

(E-mail) masters2@hiroshima-u.ac.jp